

杖・歩行器 選定・調整フロー記録シート

患者 ID _____ 評価日 _____
評価者 _____ 場所 _____

安全確認

分類

最小評価

方針再評

種類の目安（候補を絞る）

まずは支持量と主場面で候補を絞り、その後に高さ・操作性・練習で調整します。

T字杖
片手支持
軽～中等度

多点杖
静的安定
恐怖感強い

固定型
最安定
まず安全優先

前輪型
屋内中心
取り回し良好

四輪
屋外中心
長距離・休憩

Step 1-2 安全確認 / 分類

赤旗と支持量、主場面、候補機種を先に整理

- 急変徴候 強い痛み 転倒直後
 片手支持 両手支持 介助前提
 屋内中心 屋外中心 狭所多い

候補： T字杖 多点杖 固定型
 前輪型 四輪

ex) 屋内中心、方向転換で不安定。まず前輪型から確認。

Step 3 最小評価

平地・旋回・段差・高さ・操作性を最小セットで確認

- 平地 10 m 方向転換 段差・敷居
 高さ合う 先ゴム良好 ブレーキ操作

高さ：手首のしわ付近 / 肘屈曲 20-30 度を目安

ex) 前輪型で 10 m 見守り。右旋回でふらつき、段差で歩幅低下。

Step 4 方針 / 再評価

選定理由、設定、高さ、練習順、再評価条件まで 1 回で残す

- 機種決定 高さ調整 練習条件固定 家族へ説明

練習順：平地 → 方向転換 → 段差 / 傾斜

ex) 屋内は前輪型、屋外は四輪を検討。トイレ動線と玄関段差で再評価。

共有事項 / 次回申し送り

ex) 先ゴム点検、ブレーキ確認、夜間動線は介助併用。次回は玄関と屋外歩行を確認。